

令和4年度 出雲農林高校 3学期始業式・表彰式・生徒役員引継式

1月10日（火）凜とした空気に全校生徒と教職員が包まれる中、出雲農林高校の3学期をスタートさせました。



始業式



各種表彰



生徒会・農業クラブ・家庭クラブ引継式

皆さん、おはようございます。そして、新年明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお祈りいたします。2学期末の寒波により、急遽終業式を早め実質12月23日からの比較的長い冬季休業となりました。慌ただしい、終業式とホームルームになりましたが、その後の天候の回復や活動の再開から、計画を変更しながらではあったと思いますが、部活動や課題研究、当番等実施できたことと思います。

動物科学科の福間先生につきまして、県教育委員会からの処分が発表され、教員を辞めることになりました。今後は、代わりの先生がおいでになることが本来ですが、年度末ということもあり難しいと考えています。新年度までは、現在いらっしゃる先生方に授業等ご指導いただく事になります。学力保障や進路保障の面で支障をきたさないよう一生懸命に取り組んでいきます。また、信頼回復に向けて先生方と一緒に頑張って対応していきますので、皆さんは何か不安に思うことがあれば、いつでも校長室に来てください。お話を聞きながら、解決に向けた方法や対策を検討していきたいと思っています。

さて、今年はお出雲農林高校にとって、これまでも増して重要な意味を持つ年、一年になると考えています。それは令和5年度、創立90周年を迎えるからです。既に記念事業の一つとして、卒業生会である「耕魂会」と保護者の方「PTA」のご理解とご協力があり、特別教室A・B・C、美術教室へのエアコン設置は完了しました。この他、記念式典や記念講演、10年史の作成などこれから本格的に進めていく計画です。生徒の皆さんには、昭和8年に開校し、その後平成・令和と時代を超えて本校が変遷を繰り返しながら現在に繋がっていることに思いをはせ、更なる発展と活躍を期待しています。今年の体育祭や農業祭もこの周年行事に合わせ、できれば少し規模を大きくしたり、内容の充実を考えています。ウィズコロナの新しいアイディアを今から考えて欲しいと思います。その中心となるのが、このあと引き継ぎがある新役員の皆さんです。立ち会い演説会の共通した意見は、「もっと活気のある、もっと楽しめる学校にしたい」というものでした。大いに期待しています。こうした考えや、やる気を持って組織の役員となる皆さんを中心に、生徒の皆さん一人一人が元気で活躍し、90年を超えようとする本校の歴史に新しい1ページが刻まれることを願っています。

3学期、皆さんにお願いしたいことはまず3年生には、4月からの新しい環境での新しい生活に向けて、成長や飛躍といった言葉が実現するよう、残りわずかの高校生活を充実させてください。2年生には、本校を背負って立つ時期がいよいよ到来しました。約半年後には、自分の進路を決定します。自分の将来を真剣に考え、相談し後悔することのないよう準備をしっかり進めましょう。1年生は、まず学校に慣れてきたと思います。慣れてきたこの時期に、気持ちを緩めず更に自分の魅力をアップさせるための検定や資格、免許の取得に取り組みましょう。そして学校全体としては、今年度の教育目標スローガンである「自己表現と挑戦できる専門的職業人」の育成のための仕上げの時期と考え、それぞれの学年に応じた指導から、皆さんがこれからの時代に生きていく力を確実に身に付けていけるよう、先生方と一致協力して取り組んでいこうと考えています。「努力が認められる学校」、「一人一人が大切にされる学校」、「思いやりのある学校」この3つが実現されることを目標に、この学期を頑張っていこうと考えています。

さて、今年の干支は「卯・ウサギ」です。これについて、元日の日本農業新聞に本校のウサギと動物科学科3年の青木さんと板倉さん、坂本先生の記事と写真も掲載されていました。その一部を紹介します。本校とウサギの関係は、まず飼育していることや近隣の農家やスーパーからえさの提供を受けていること、そして「移動動物園」として地域に出掛け親しまれている存在であること、坂本先生からは、ウサギの豆知識としてコメントがあります。そして中国地方では、古事記の「因幡の白兔」伝説が有名でこれに関連する内容が一面にありますので、是非読んでみてください。

最後に新型コロナウイルス感染症は、広がり身近なところでみられます。引き続き感染症予防を徹底し、周りの人に配慮し感謝の気持ちを持って、普段通りの生活が学校や家庭でできるように、各自が自覚を持って行動しましょう。

以上、令和5年が皆さんにとって実り多い年となるよう祈念して、3学期始業式のあいさつとします。